

令和3年度

事業報告書

令和3年4月1日から

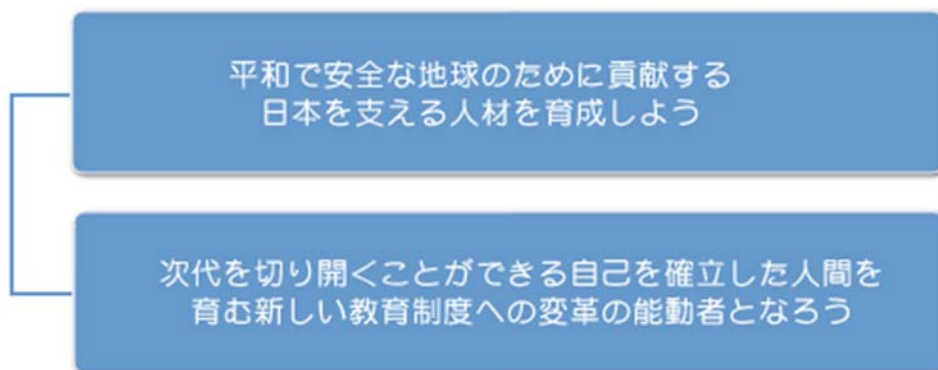
令和4年3月31日まで

学校法人 八洲学園

1. 法人の概要

(1) 学園のミッション

八洲学園では2つのミッション ステートメントを掲げております。



(2) 学校法人の沿革

- 1948年 奈良県においてヤシマ裁縫学院として奈良県知事の認可により創立。
- 1951年 私立学校法施行により、学校法人八洲学園を設立。ヤシマ文化学園並びに天理経理学校を併設する。
- 1952年 大阪市東区（現中央区）において大阪経理専修学校を設立。
- 1954年 大阪経理専修学校を玉造経理専門学校と改称。
- 1966年 玉造経理専門学校の発展に伴い通学の便をはかり、阪和線堺市鳳地区に鳳経理専門学校を設立。
- 1969年 大阪市天王寺区に玉造タイピスト学校を設立。
- 1976年 玉造経理専門学校、鳳経理専門学校、天理経理専門学校、ヤシマ文化学園が専修学校認可を受ける。
- 1977年 鳳経理専門学校高等課程が技能連携指定校（文部大臣認可）とし卒業生に高校卒業資格が与えられる。
- 1978年 鳳経理専門学校専門課程は産業能率短期大学との提携により通信制を併学し、短大卒業資格を得る。
- 1979年 鳳経理専門学校高等課程を分離し、鳳経理高等専修学校の設立認可をうける。
- 1985年 鳳経理高等専修学校の卒業生に、文部大臣より大学入学資格が与えられる。
- 1986年 玉造経理専門学校新校舎完成。鳳経理専門学校とともに校名を、ヤシマ情報経理専門学校と改称。
- 1992年 ヤシマ情報経理専門学校鳳校を廃校し、八洲学園高等学校の設立認可をうける。
- 1994年 ヤシマ情報経理専門学校に高等課程を設置
- 1995年 ヤシマ総合ビジネス専門学校（旧玉造タイピスト学校）をパソコンワープロカレッジ専門学校と改称。
- 1997年 八洲学園高等学校広域の認可を受け、東京本部（新宿区）を設置。
- 1998年 鳳商業高等専修学校を八洲学園高等専修学校と改称。
- 1998年 八洲学園高等学校梅田、渋谷、池袋会場を開設。
- 1999年 八洲学園高等学校上野、横浜、三ノ宮、京都、奈良会場開設。
- 2000年 八洲学園国際高等学校（沖縄）を設置。
- 2000年 八洲学園高等学校東京本部2号館完成。
- 2001年 パソコンワープロカレッジ専門学校内に学園本部を設置。
- 2002年 パソコンワープロカレッジ専門学校とヤシマ情報経理専門学校統合、西日本柔道整復専門学校設置。
- 2004年 八洲学園大学開学。
- 2006年 八洲学園国際高等学校を八洲学園大学国際高等学校に改称。
- 2017年 ESA音楽学院専門学校を設置。
- 2017年 福岡県那珂川町立福岡女子商業高等学校の移管を受け、福岡女子商業高等学校として設置。

(3) 設置する学校 (令和4年3月31日現在)

設置学校名	学(校)長名	学校所在地	学校設置認可年月日	男女校種別
八洲学園大学	水戸部 優子	神奈川県横浜市西区桜木町7-42	平成15年11月27日	男女
八洲学園高等学校	林 周剛	大阪府堺市西区鳳中町7-225-3	平成04年03月31日	男女
八洲学園大学国際高等学校	中村 成希	沖縄県国頭郡本部町備瀬1249	平成12年03月31日	男女
八洲学園高等専修学校	谷口 充	大阪府堺市西区鳳中町4-132	昭和54年04月01日	男女
ESA音楽学院専門学校	森上 芳郎	大阪府大阪市天王寺区玉造元町2-6	平成29年01月13日	男女
福岡女子商業高等学校	柴山 翔太	福岡県那珂川市片縄北1-4-1	平成29年03月09日	女

(4) 学部・学科・学生等の状況 (令和3年5月1日現在)

※大学は正科生のみで科目等履修生は含まない。

学校名	学部・学科等名	入学定員 (人)	入学者数 (人)	収容定員 (人)	在籍者数 (人)	収容率 (%)
八洲学園大学	生涯学習学部 生涯学習学科	入学定員 800 編入学定員 400	※ 463	4000	2224	55.6
八洲学園高等学校	通信制課程 (広域)普通科	—	522	3000	1677	55.9
八洲学園大学国際高等学校	通信制課程 (広域)普通科)	—	380	5000	1326	26.5
八洲学園高等専修学校	経理高等課程 商業科	40	21	120	63	52.5
ESA音楽学院専門学校	文化教養課程 吹奏楽学科 吹奏楽実務学科	40 40	25 1	80 40	47 1	58.8 2.5
福岡女子商業高等学校	全日制課程 商業科	240	129	720	315	43.8

(5) 役員概要 (令和4年3月31日現在)

定員数 理事5~7名 実数5名 ・ 監事2~3名 実数2名 4年任期

役員名	職名 担当職名	氏名	常勤 非常勤	就任年月日 (重任年月日)	選任区分	主な現職等
理事	理事長	和田 公人	常勤	平成9年5月29日 (令和3年6月14日)	2号	理事長 (学)令徳学園理事長
理事		林 周剛	常勤	平成27年4月1日	1号	校長
理事	事業理事	小森 嘉之	非常勤	平成14年9月30日 (令和3年6月14日)	2号	会社役員
理事		吉原 和仁	非常勤	平成15年5月29日 (令和3年6月14日)	2号	会社役員
理事		和田 みゆき	非常勤	平成21年6月14日 (令和3年6月14日)	3号	会社役員 (学)令徳学園理事
監事		加藤 卓	非常勤	平成25年6月14日 (令和3年6月14日)		税理士
監事		岡 正俊	非常勤	平成28年4月1日 (令和3年6月14日)		弁護士

(6) 評議員概要 (令和4年3月31日現在)

定員数 11~15名 実数12名 4年任期

氏名	主な現職等	選任区分	備考
水戸部 優子	八洲学園大学学長	1号	
林 周剛	八洲学園高等学校校長	1号	兼理事
谷口 充	八洲学園高等専修学校校長	1号	
柴山 翔太	福岡女子商業高等学校校長	1号	
中村 成希	八洲学園大学国際高等学校校長	2号	
石渡 知美	八洲学園職員	3号	
小森 嘉之	会社役員	4号	兼理事
吉原 和仁	会社役員	4号	兼理事
和田 みゆき	会社役員 ・ (学)令徳学園理事	4号	兼理事
和田 公人	理事長 ・ (学)令徳学園理事長	5号	兼理事
古川 直季	国会議員	5号	
松本 真尚	会社役員	5号	

(7) 教職員の概要（令和3年5月1日現在）

		合計	八洲学園大学	八洲学園 高等学校	八洲学園大学 国際高等学校	八洲学園高等 専修学校	ESA 音楽学院 専門学校	福岡女子商業 高等学校
教員	本務	119	21	49	16	5	4	25
	非常勤	187	56	95	10	5	16	12
職員	本務	25	6	13	2	0	2	1
	兼務	26	4	9	7	2	1	0

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

当学校法人を取り巻く環境は、少子化の進行や経済状況の変化等により、厳しい状況にある。
このような中、各学校は以下の取り組みを行っている。

【八洲学園大学】

- ・チャットボット、DSP 広告といった新たなウェブ広報を取り入れ、学生定員の確保を進めた（令和3年度の入学者数は前年度比133%）。
- ・教室等の換気・消毒、職員の在宅勤務併用や事務局の2班体制など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、学事予定に変更を生じることなく運営した。
- ・「スクーリング授業配信ガイドライン」を改訂し、自宅からの授業配信を継続するとともに、配信・録画エラーが起きた際の対応を明確化した。
- ・入学者の急増に伴い特に国家資格科目の履修者が急増したが、一時手当の支給や副担当教員の臨時配置といった措置により学生の学修機会を確保した。
- ・令和3年度秋期から「授業目的公衆送信補償金制度」に加入し、自宅配信でも著作物を活用した授業を可能とした。
- ・授業の録画・録音・再配布に関する注意喚起をSOBA マナベル等に掲載し、不正利用防止を推進した。
- ・「障がい学生支援に関するガイドライン」を策定した。
- ・「令和3年度 自己点検評価書」を作成し、大学サイト上で公表した。
- ・平成25～34年度中長期計画の第2期中間報告を作成し、大学サイトに掲載した。
- ・人事関連の審議の客観性を確保するため、総務委員以外の教員も加わる「教員人事準備会」を設置した。令和3年度は非常勤講師採用や専任教員昇任人事に関し、計6回開催した。
- ・「危機管理マニュアル」を策定した。
- ・「情報セキュリティポリシー」を策定した。
- ・「八洲学園大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程」を策定した。

- ・令和2年度末の労働基準監督署からの是正勧告を受け、職員の残業管理方法を見直し、改善報告書を提出した。
- ・令和3年度から再開した衛生委員会の成果として、「心の健康づくり計画」「健康情報等の取扱規程」を策定した。

【八洲学園高等学校】

- ・通信制高等学校として、通学型のサポートクラス、通信型の通信クラス、技能連携校、科目履修生、中等部の生徒への教育活動
- ・教育講演会、体験活動など、教育関係者との情報交換や地域の方との交流の場を設け、社会貢献活動

【八洲学園大学国際高等学校】

- ・「高等学校教育を受けられなかった青少年に就学の機会を与えること」を主たる目的とし、沖縄短期集中スクーリングを特色とする広域通信制課程による高校学校教育を行った。
- ・令和4年度より施行される改正学校教育法施行規則及び改正高等学校通信教育規程、新学習指導要領へのソフト・ハード面の対応を実施した。
- ・文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」および沖縄県のマニュアルに準拠して新型コロナウイルス感染症感染予防対策を徹底して安全安心な学校環境を構築し、教育活動をおこなった。
- ・八洲学園大学との高大連携、およびESA音楽学院専門学校との高専連携事業を実施し、内部進学に結び付けた。
- ・生徒募集の新たな開拓間口として「トップアスリート育成コース」を設置した。

【八洲学園高等専修学校】

- ・発達障害を中心とするライフキャリア教育を更にすすめるとともに生涯学習として、特に青年期は生涯学習への移行について文科省の政策をふまえて実践を重ねていく。
- ・文科省の生涯学習や権利条約の反映し、更に教育年限の延長とその先の高等教育についても具体的に考え他の機関と連携を図っていく

【ESA音楽学院専門学校】

- ・吹奏楽を職業にと考える人達の専門学校として、生徒のリペア技術の習得向上、演奏技術の習得向上を目指した。

【福岡女子商業高等学校】

- ・私学に移管して5年目が終了した。そこで6年目となる本年度からは、次のステージへ向けてICTを日常化し、時代に即した商業教育の再構築を図る。
- ・全コースにおいて、「起業家のように思考し、起業家のように行動する」起業家教育を推進する。
- ・国公立大学を含む4年制大学への進学やこれまで積み上げてきた地元企業の信頼を強みとし、進路に強い女子商として地域を支える人材の育成に努める。
- ・社会に開かれた学校として地域連携、高大連携など魅力ある教育活動を展開し、入学生の増加を図る。

(2) 主な事業の目的・計画及び進捗状況

当該年度に実施した事業は以下の通りである。

【八洲学園大学】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

①生涯を通して主体的に学びを発信し続ける意欲をもった人材の育成

事項	概要	進捗状況
カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成	カリキュラム・ポリシーを整備し体系的な教育課程を編成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は計12科目を新規開講。 ・令和4年1月にカリキュラム・ポリシーの文言を修正（学習→学修）。
ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標の明確化	ディプロマ・ポリシーを整備し評価指標を明確化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度からシラバスに「到達目標」欄を設けることを決定。掲載率100%達成を目指し教員への協力を求めた。
多様な学習支援	eラーニング・システムを活かした支援や学生支援センターによるきめ細やかな支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「レポートの書き方ハンドブック [第3版]」令和3年3月1日発行。 ・「障がい学生支援に関するガイドライン」整備。 ・秋期から「授業目的公衆送信補償金制度」加入。自宅配信でも著作物を活用した授業が可能となった。 ・「授業の録画・録音・再配布に関する注意喚起」掲載。 ・令和4年度の「高等教育の修学支援制度」に申請に向け準備中。

②学生が意欲をもつ学びの場の構築

事項	概要	進捗状況
アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ	アドミッション・ポリシーを整備し適切に学生を受け入れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学案内を全国の通信制高校や島しょ部に送付。 ・指定校推薦入試制度により3名が入学（指定校推薦入試開始以降初）。 ・「BrushUP 学び」に大卒希望者、学校司書プログラム希望者ページを新設。 ・大学サイトの「社会教育士」案内充実。 ・大学サイトにチャットボット導入。 ・入学支援相談センターにて GoogleMeet によるオンライン個別相談会を開始。 ・BrushUP 学びの「高卒で取得できる資格」ページに本学バナーを掲載。 ・1年次入学・編入学者向け DSP 広告を実施。
学生の視点を育成に反映させる取り組み	学生の要望を科目の新設や教授法の開発に反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度学生アンケートへの取り組みをサイト公開。 ・「初年次セミナー」「生涯学習論1（生涯における学習設計）」履修生アンケートを実施、教務委員会で共有。 ・令和3年度学生アンケートを実施、結果をサイト上で公開。
学生の成長を促す取り組み	科目の充実等により学生の成長を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・教務委員分担による「初年次セミナー」を開始。 ・令和3年度は計12科目を新規開講。

③時代の要請に応えたeラーニングスタイルの提供

事項	概要	進捗状況
eラーニング・システムの機能を生かした教授法の開発	学生や教職員の意見等を反映しeラーニング・システムの仕様改善を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業配信ガイドライン」を大幅に改定、自宅からの授業配信を継続。 ・令和3年3月にSD研修会を「SOBA マナベル」で開催し、教員が学生画面を体験。 ・ライブ配信中にオンデマンド収録エラーが発生したことを知らせるアラートを実装。 ・「SOBA マナベル」附属図書館ページを改善（予約数、出版年による検索機能を追加。）
FDの実施	FDを実施しeラーニングスタイルの教育の能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～3年度FDとして日本学術振興会「研究倫理eラーニングコース」受講を推奨。中間報告では、専任6名、非常勤3名が受講。 ・「公開授業（授業参観）」実施。中間報告では、専任12名、非常勤2名が参加。
SDの実施	SDを実施しeラーニングスタイルの教育や学生支援の能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月にSD研修会「大学通信教育の現状、そして今後に向けて」をオンライン開催。アンケート結果等を共有。 ・職員が企業主催のオンラインセミナー（「教育の質保証」）に参加。今後も可能な範囲で個人の研修も進めていく。 ・令和3年3月にSD研修会「成人への学習環境提供—海外の大学の動向からの示唆—」をオンライン開催。

④生涯学習社会の実現に向けての研究開発の推進

事項	概要	進捗状況
カリキュラムの確認と再構築	生涯学習社会の実現のために求められることを分析しカリキュラムを再構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生アンケートをきっかけとしたIT関連科目を含む、計12科目を令和3年度に新規開講。 ・教務委員会で「初年次セミナー」に続く科目を検討中。
FDの実施	FDを実施し研究開発を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～3年度FDとして日本学術振興会「研究倫理eラーニングコース」受講を推奨。中間報告では、専任6名、非常勤3名が受講。 ・「公開授業（授業参観）」実施。中間報告では、専任12名、非常勤2名が参加。
研究紀要の発行	八洲学園大学紀要を発行し公表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年2月にリカレント研究員の定例研究会実施。 ・令和3年3月『リカレント研究論集』刊行。 ・令和3年4月『八洲論叢』創刊号の投稿募集開始。 ・過去の『紀要』のリポジトリ登録完了。 ・『紀要』第18号刊行準備中。 ・『リカレント研究論集』第2号刊行準備中。

⑤グローバル化に対応した学習の提供

事項	概要	進捗状況
多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築	現行システムの弱点を補う新システムを開発する。	・授業録画ボタン押し忘れ防止として「録画中」表示を実装。 ・従来紙ベースだった申請関連のシステム化完了（証明書申請、異動申請）。
公開講座の新設	グローバル化に対応した公開講座を新設する。	・八洲学園大学国際高校との高大連携講座を継続（昨年度の録画）。 ・令和3年度は計4講座を新規開講。 ・令和3年度は2回の「防災士養成講座」を開講。
科目群の整備	グローバル化に対応した科目群を整備する。	（平成30年度～外国語教育の科目等を検討。）

⑥キャリア形成や就職・転職支援の実施

事項	概要	進捗状況
就職・転職支援の充実	キャリアコーディネート室による支援を行う。	・令和2年度のアンケート結果を踏まえた就活セミナーを開催。 ・令和4年2月に神奈川キャリア形成サポートセンターと連携したキャリア支援講座を開催。
科目群の整備	キャリア教育科目を整備する。	（平成29年度～キャリア教育担当の専任教員を採用。）
公開講座の新設	キャリア形成に役立つ公開講座を新設する。	・令和3年度は計4講座を新規開講。 ・令和3年度は2回の「防災士養成講座」を開講。 ・令和4年度に「ゲートキーパー養成講座」を開講予定。 ・「キャリアコンサルタント養成講座」検討中。

⑦広く社会や地域に貢献

事項	概要	進捗状況
神奈川県や横浜市との連携	神奈川県や横浜市主催イベント等に参加し地域に貢献する。	・令和3年9月「生涯学習フェア」（県立図書館主催）参加。 ・令和4年2月に神奈川キャリア形成サポートセンターと連携した就活セミナーを開催。
各地域での社会貢献	公開講座をeラーニングで提供し社会に貢献する。	・令和3年度は計4講座を新規開講。 ・令和3年度は2回の「防災士養成講座」を開講。 ・令和4年度に「ゲートキーパー養成講座」を開講予定。 ・「キャリアコンサルタント養成講座」検討中。
大学施設・整備の開放	大学施設・整備を一般に開放し地域に貢献する。	・附属図書館一般開放はコロナ感染予防のため引き続き中止。 ・空き教室の時間貸しは夜間の貸出時間をニーズに合った形に変更。一般企業2社の新入社員集合研修で利用あり。 ・令和3年8月の横浜市長選挙で附属図書館を投票所として貸出。 ・神奈川県LINE コロナお知らせシステムに事業者登録を行い、感染防止対策取組書を館内掲示。

・施設・設備の整備計画

<p>令和3年度は、計画通り、連結送水管耐圧試験、空調設備室外機の不具合修繕、及び法令点検に伴うエレベータ部品交換工事を行った。また7月の消防点検で指摘された不備に関する修繕を行った。さらに年度後半には、大幅な収入増となる見込みとなったことを背景に、PCB含有調査、非常用自家発電機の負荷試験、及び2階事務局及び附属図書館のLED化工事を実施した。その他に、緊急対応として、3階給湯室換気扇交換工事、7階A教室窓開閉不具合修理、4階男子トイレ入口扉取手交換工事、2階給湯室内電気温水器撤去工事、及び2階空調機不具合改修工事を実施した。</p> <p>令和4年度は、USG（地中線用負荷開閉器）設置工事を計画している。さらに、できれば非常用発電機負荷試験（原則年1回実施のため）、自動火災報知設備更新工事（万一事故があると近隣にも影響を及ぼすため）、電話設備刷新のための調査も行いたい。</p>
--

【八洲学園高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
サポートクラス運営の定着化 ホームサポートクラスの入学者増	3学年がすべて揃ったサポートクラスの生徒入学者数を安定的に受け入れ、運営内容の充実を図り、運営を定着化させる。 また、不登校生や支援を要する生徒さんに対する、学習サポートをさらに拡充し、ホームサポートクラスの入学者数を増やす。	令和3年度の実績は会計書類参照
八洲学園中部（フリースクール）	中部部の登録者数を増やす。 不登校の中学生に対し新たな学び場を提供し、所属中学校への学習復帰の一助となる。	令和3年度の在籍者数 251名
支援を要する生徒さんへの就労支援の充実	支援を要する生徒さんへの就労支援の充実の為、校内模擬会社を設立し、生徒さんに入社から就労までの模擬体験を経験してもらう。	

・施設・設備の整備計画

事項	事業規模等	事業費	財源	実施時期
堺本校事務C 青空教室設置工事	堺本校事務C敷地内	R3決算書に記載	R3決算書に記載	令和3年11月～ 令和4年3月

【八洲学園大学国際高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
・次期学習指導要領への対応	・教育課程を新学習指導要領に対応させるための学則の改正、およびレポート等を教材刷新する。	・計画通りに学則の改正、教材の刷新、教育課程の全面改訂を実施した。
・八洲学園大学との高大連携 ・ESA 音楽学院専門学校との高専連携	・八洲学園グループ校であることの強みを生かして、八洲学園大学との高大連携、ESA 音楽学院専門学校との高専連携により、当校の特色の差別化を図りつつ、グループ校の事業収入増および内部進学者増に資する。	・八洲学園大学の公開する高大連携講座受講および ESA 音楽学院専門学校の定期演奏会観覧を高校特別活動の一部に認定した。 ・学校情報紙および全生徒へ配る冊子へグループ校の紹介・生徒募集記事を掲載した。
・教育情報システムの更新	・学校情報システムを令和4年度より移行の新学習指導要領および通信制課程にかかる学校教育法例規改正に対応させる。	・年度内に旧システムからの完全な移行および令和4年度からの新学習指導要領への対応を完了した。
・「トップアスリート育成コース」	生徒募集の新たな開拓先として、「トップアスリート育成コース」を設置する。	・4分野（サッカー、格闘技、陸上、野球）での育成の教育提携を締結した。

・施設・設備の整備計画

事項	概要	進捗状況
校舎の錆び止め塗装工事	定期的に行っている塩害による校舎の劣化を防ぐための校舎錆び止め塗装工事	今年度は計画なし
空調機器の更新	イルカ・ナポレオン・ルリスズメの3教室計6台の取替工事を計画	取替工事完了

【八洲学園高等専修学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
学校関係者評価	生徒職員以外の大学・就職先の人による評価	11月実施
第16回 全国専攻科大会	オンライン集会	コロナによりオンラインによる集会に変更 学生オンラインにて参加
他関係学会での参加・発表	特殊教育学会・特別ニーズ教育学会での参加発表	今年度は参加発表行いませんでした
進路研究会の結成	社会福祉法人やNPO等の進路先や中部部との連携を強化し外部への発信力を高める	各施設責任者への説明を図る

・施設・設備の整備計画

事項	事業規模等	財源	実施時期	備考
令和3年度	屋上プレハブ倉庫撤去	修繕費	自主財源	令和4年3月実施済

・授業料変更等

年度	事項	概要
令和3年度	施設設備費の変更	各学年で徴収する方法に改める

・教職員採用・退職

年度	事項	概要
令和3年度	非常勤講師1名退職・補充予定	3.31付非常勤講師退職

・今後の課題

耐震診断の結果、鉄筋コンクリートについて、全く劣化はなく部分的な補強対応可能の見込みである。
問題は図面のない建物。

・財務の概要

経費を抑え可能な限り経営努力をして経営基盤の強化に努める。

【ESA 音楽学院専門学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
楽器店及びリペア工房への就職	楽器構造及び音楽の歴史等の知識を深め・リペア技術の習得を行う	楽器店・リペア工房・楽器部品製造会社へ就職
演奏家の育成	演奏表現及び音楽の歴史等の知識を深め・演奏技術の習得を行う	短期大学へ進学 本学科目履修生登録
音楽隊への就職	演奏表現及び音楽の歴史等の知識を深め・演奏技術の習得、公務員試験対策を行う	消防音楽隊へ就職
音楽留学を目指す	演奏表現及び音楽の歴史等の知識を深め・演奏技術の習得、留学先で使用する言語習得を行う	コロナ禍により希望者なし
一般就職	吹奏楽を学びながら一般職を目指す	教員登録・一般職就職 自衛隊入隊

・施設・設備の整備計画

事項	実施時期	備考
3階男子トイレ小便器修理	令和3年4月	事業計画のとおり実施。
4階5階 大雨被害修理	令和3年12月～ 令和4年3月	(事業計画外) 7月に起きた大雨被害(雨漏り)の修繕を、授業に影響のない時期を選んで実施いたしました。
2階合奏場ガラス扉撤去及び鉄扉設置	令和4年3月	(事業計画外) 2階合奏場扉の解放口が狭く、演奏会等で大型打楽器を搬出搬入する際に取り外していましたが、扉がガラス製で危険なため、解放口の大きい鉄扉を設置いたしました。

【福岡女子商業高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
大学進学指導の拡充	・より充実した小論文指導体制を構築し、進学希望者への進路指導を徹底し、国公立大学を含めた4年制大学への進学増を実現する。	・令和2年度よりスタディールームを整備し、小論文指導を徹底したことにより、国公立大学進学者を15名(のべ20名)輩出することができた。
ビジネスビューティーコースの開始	・「美の経営者を育てる」をコンセプトに職業人としての資質、能力、マネジメント力を身に付け起業意欲あふれた人材を育成する。	・ビジネスビューティールームを整備し、新入生30名を迎える。
学外連携の強化強化	・社会で活躍している大人たちと接する機会をつくり、長期的な視点でキャリア教育を行う。	・外部講師による講演会や起業家による経営塾、アパレルブランドと連携した課外活動や、映画製作に関わるプロジェクトなど多くの機会を作り出すことができた。
学校のDX化	・ICT環境を整備し、学習効率の向上、教職員の業務効率化、保護者連絡の方法を改善し、学校満足度を向上させる。。	・全教室にプロジェクター設置、校務支援システム「BLEND」の活用により学習効率、業務効率、生徒保護者満足度が向上した。
広報活動の充実	・パンフレット等の広報ツールを一新及び、対象中学校の地域拡大、制服のリニューアル等で、生徒数を増やす。	・広報活動の在り方を見直した年にTV局や新聞、ラジオなどの取材も多々あり、認知度が大きく向上した。入学者についても例年に比べ大幅に増加できた。

・施設・設備の整備計画

事項	事業規模等	事業費	実施時期	備考
トイレ改修	2か所、和式トイレを洋式トイレへ変更	3,130,000	8月	国庫補助 (高機能化補助金) 3分の1補助
教室電子黒板 プロジェクター設置	全教室18箇所に電子黒板湯用プロジェクターを設置	9,356,000	8月	国庫補助金 (ICT教育設備整備費補助金) 2分の1補助
校内全照明 LED化工事	校内の全照明を蛍光灯からLEDに取替更新	5,603,000	12月～1月	
空気清浄機設置	21台、コロナ感染対策用、全教室に設置	1,621,000	1月	コロナ関連補助金 全額補助
体育館暖房機設置	4台コロナ感染対策用	836,000	2月	コロナ関連補助金 全額補助
生徒用PCクロームブック	60台、更新用	2,308,000	3月	国庫補助 (情報機器整備費補助金) 2分の1補助

(3) 施設等の状況

現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次の通りである。

ア) 土地

所在地	部門	専用面積	取得価額
神奈川県横浜市西区桜木町	八洲学園大学	838.40 m ²	658,288 千円
東京都新宿区新宿	八洲学園大学	162.00 m ²	300,552 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	992.00 m ²	105,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	327.00 m ²	72,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	330.00 m ²	72,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	984.00 m ²	96,753 千円
大阪府大阪市中央区玉造	八洲学園高等学校	290.00 m ²	59,587 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	21950.00 m ²	172,505 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	1408.00 m ²	8,540 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	724.00 m ²	4,380 千円
沖縄県国頭郡本部町字石川知場塚原	八洲学園大学国際高等学校	7275.00 m ²	28,366 千円
大阪府堺市西区鳳中町四丁	八洲学園高等専修学校	276.00 m ²	58,500 千円
大阪府堺市西区鳳中町四丁	八洲学園高等専修学校	836.00 m ²	50,400 千円
大阪府大阪市天王寺区玉造元町	E S A 音楽学院専門学校	261.93 m ²	47,337 千円
東京都新宿区新宿	法人本部	134.00 m ²	300,000 千円

イ) 建物

所在地	部門	専用面積	帳簿価額
神奈川県横浜市西区桜木町	八洲学園大学	4662.19 m ²	261,880 千円
東京都新宿区新宿	八洲学園大学	1112.15 m ²	32,251 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	683.93 m ²	32,960 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	304.98 m ²	6,886 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	1156.97 m ²	65,549 千円
大阪府大阪市中央区玉造	八洲学園高等学校	1145.17 m ²	109,942 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬	八洲学園大学国際高等学校	2993.62 m ²	278,465 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等専修学校	1010.94 m ²	3,472 千円
大阪府大阪市天王寺区玉造元町	E S A 音楽学院専門学校	907.59 m ²	7,531 千円
福岡県那珂川市	福岡女子商業高等学校	10741.80 m ²	267,681 千円
東京都新宿区新宿	法人本部	90.90 m ²	6,650 千円

(4) その他

特に記載すべき事項はありません。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表の状況

貸借対照表は、学園の財政状態の健全性、必要資産の保有状況について表示したものです。

資産の合計は8,754,936千円で、前年度に比べ416,720千円の増加となり、負債の合計は250,258千円で、前年度に比べ36,910千円の増加となりました。

結果、純資産の合計は8,504,678千円となり、前年度に比べ379,810千円の増加となりました。

②収支計算書の状況

ア) 資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の学園の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにし、その年度における支払資金のてん末を明らかにしたものです。

当年度の収入は3,205,827千円で、前年度の繰越支払資金4,076,975千円を加算すると、

収入の合計は7,282,802千円となりました。

当年度の支出は2,738,373千円となり、翌年度の繰越支払資金は4,544,429千円となりました。

結果、翌年度の繰越支払資金は、前年度に比べ467,454千円の増加となりました。

イ) 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書に記載される資金収入及び資金支出の決算の額を、

「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の三つの活動に区分し資金の流れを表示したものです。

教育活動による資金収支差額は432,328千円となり、施設整備等活動による資金収支差額は△28,765千円、

その他の活動による資金収支差額は63,891千円となりました。

結果、支払資金の増加額は467,454千円となりました。

ウ) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、会計年度の事業活動収入及び事業活動支出を明らかにするとともに、

基本金組入額を控除した会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の

均衡の状態を明らかにしたものです。

基本金組入前の当年度収支差額は379,810千円となり、基本金組入額△29,693千円を計上後の当年度収支

差額は350,117千円となりました。また、当年度収支差額350,117千円に前年度の繰越収支差額2,585,162

千円、基本金取崩額150千円を加算した結果、翌年度繰越収支差額は2,935,429千円となりました。

(2) 経年比較

①貸借対照表

(単位 千円)

科目	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
固定資産	4,277,553	4,324,504	4,282,378	4,164,150	4,087,961
流動資産	3,312,129	3,504,041	3,808,342	4,174,066	4,666,975
資産の部合計	7,589,682	7,828,545	8,090,720	8,338,216	8,754,936
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	233,388	217,443	214,159	213,348	250,258
負債の部合計	233,388	217,443	214,159	213,348	250,258
基本金	5,286,784	5,472,152	5,509,012	5,539,706	5,569,248
繰越収支差額	2,069,510	2,138,950	2,367,549	2,585,162	2,935,430
純資産の部合計	7,356,294	7,611,102	7,876,561	8,124,868	8,504,678
負債及び純資産の部合計	7,589,682	7,828,545	8,090,720	8,338,216	8,754,936

②収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位 千円)

収入の部	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
学生生徒等納付金収入	1,125,405	1,240,169	1,252,609	1,364,199	1,492,213
手数料収入	28,029	28,303	29,251	27,574	28,027
寄付金収入	13,742	481	228	799	379
補助金収入	435,037	342,202	280,739	243,559	280,660
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	40,126	48,924	42,381	49,469	50,396
受取利息・配当金収入	3,241	2,853	2,765	2,187	1,985
雑収入	21,760	29,868	19,436	21,636	27,272
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	101,152	95,237	112,438	108,213	128,307
その他の収入	1,159,050	1,328,394	1,304,747	1,426,204	1,396,551
資金収入調整勘定	△180,670	△219,366	△197,544	△177,093	△199,963
前年度繰越支払資金	2,881,103	3,179,351	3,339,012	3,672,621	4,076,975
収入の部合計	5,627,975	6,076,416	6,186,062	6,739,368	7,282,802
支出の部	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
人件費支出	832,618	787,343	784,211	837,124	884,361
教育研究経費支出	298,009	372,177	315,816	333,639	354,158
管理経費支出	187,521	181,358	178,893	169,617	176,966
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	52,380	175,041	64,878	28,183	18,805
設備関係支出	37,625	7,698	250	3,380	15,581
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	1,073,189	1,237,132	1,178,078	1,298,978	1,300,348
資金支出調整勘定	△32,718	△23,345	△8,685	△8,528	△11,846
翌年度繰越支払資金	3,179,351	3,339,012	3,672,621	4,076,975	4,544,429
支出の部合計	5,627,975	6,076,416	6,186,062	6,739,368	7,282,802

② 収支計算書

イ) 活動区分資金収支計算書

(単位 千円)

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	1,609,483	1,639,549	1,601,677	1,683,568	1,846,009
教育活動資金支出計	1,318,148	1,340,878	1,278,920	1,340,379	1,415,484
差引	291,335	298,671	322,757	343,189	430,525
調整勘定等	△ 16,367	△ 21,902	△ 7,605	33,458	1,803
教育活動資金収支差額	274,968	276,769	315,152	376,647	432,328
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	28,533	23,263	0	661	7,723
施設整備等活動資金支出計	90,004	182,739	65,128	31,563	34,386
差引	△ 61,471	△ 159,476	△ 65,128	△ 30,902	△ 26,663
調整勘定等	△ 10,656	△ 14,270	25,531		△ 2,102
施設整備等活動資金収支差額	△ 72,127	△ 173,746	△ 39,597	△ 30,902	△ 28,765
小計 (教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額)	202,841	103,023	275,555	345,745	403,563
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,141,729	1,260,940	1,212,274	1,349,143	1,359,495
その他の活動資金支出計	1,046,322	1,204,302	1,154,220	1,290,534	1,295,604
差引	95,407	56,638	58,054	58,609	63,891
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	95,407	56,638	58,054	58,609	63,891
支払資金の増減額 (小計+ その他の活動資金収支差額)	298,248	159,661	333,609	404,354	467,454
前年度繰越支払資金	2,881,103	3,179,351	3,339,012	3,672,621	4,076,975
翌年度繰越支払資金	3,179,351	3,339,012	3,672,621	4,076,975	4,544,429

② 収支計算書

ウ) 事業活動収支計算書

(単位 千円)

		科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,125,405	1,240,169	1,252,609	1,364,199	1,492,213
		手数料	28,029	28,303	29,251	27,574	28,027
		寄付金	12,994	481	228	138	379
		経常費等補助金	407,252	318,939	280,739	243,559	272,936
		付随事業収入	14,044	21,789	19,414	26,462	25,182
		雑収入	21,760	29,868	19,436	21,636	27,272
		教育活動収入 計	1,609,484	1,639,549	1,601,677	1,683,568	1,846,009
		支出	人件費	832,618	787,343	784,211	837,124
	教育研究経費	372,797	446,505	395,959	412,988	438,006	
	管理経費	192,199	186,025	181,742	171,802	178,693	
徴収不能額等	0	2737	0	0	61		
教育活動支出 計	1,397,614	1,422,610	1,361,912	1,421,914	1,501,121		
教育活動収支差額			211,870	216,939	239,765	261,654	344,888
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	3,241	2,853	2,765	2,187	1,985
		その他の教育活動外収入	26,082	27,134	22,966	23,007	25,214
		教育活動外収入 計	29,323	29,987	25,731	25,194	27,199
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出 計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額			29,323	29,987	25,731	25,194	27,199
経常収支差額			241,193	246,926	265,496	286,848	372,087
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	274,947	25,833	0	661	7,723
		特別収入 計	274,947	25,833	0	661	7,723
	支出	資産処分差額	12	17,951	37	39,202	0
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出 計	12	17,951	37	39,202	0
特別収支差額			274,935	7,882	△ 37	△ 38,541	7,723
基本金組入前当年度収支差額			516,128	254,808	265,459	248,307	379,810
基本金組入額合計			△ 292,949	△ 188,955	△ 38,546	△ 31,288	△ 29,693
当年度収支差額			223,179	65,853	226,913	217,019	350,117
前年度繰越収支差額			1,822,038	2,069,510	2,138,950	2,367,549	2,585,162
基本金取崩額			24,293	3,587	1,686	594	150
翌年度繰越収支差額			2,069,510	2,138,950	2,367,549	2,585,162	2,935,429

(参考)

事業活動収入 計	1,913,754	1,695,369	1,627,408	1,709,423	1,880,931
事業活動支出 計	1,397,626	1,440,561	1,361,949	1,461,116	1,501,121

(3) 主な財務比率比較

(単位 %)

比率名	算式	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	50.8	47.1	48.1	48.9	47.2
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	22.7	26.7	24.3	24.2	23.4
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	11.7	11.1	11.1	10.1	9.5
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	68.6	74.2	76.9	79.8	79.7
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	26.9	15.0	16.3	14.5	20.2
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	86.2	95.6	85.7	87.1	81.1
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	14.7	14.7	16.3	16.8	19.9
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	13.1	13.2	14.9	15.5	18.7
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債}+\text{純資産}}$	96.9	97.2	97.3	97.4	97.1
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	1419.1	1611.4	1778.2	1956.5	1864.9
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	3.1	2.8	2.7	2.6	2.9
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) その他

①有価証券の状況

区分	銘柄	数量	帳簿価額	時価	表示科目
株式	(株)神戸製鋼所	500	277,043円	295,500円	有価証券
株式	南海電気鉄道(株)	6,200	4,850,460円	14,650,600円	有価証券
計		6,700	5,127,503円	14,946,100円	

②寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
一般寄付金	卒業生他	379,194円	八洲学園大学 福岡女子商業高等学校

③収益事業の状況

駐車場業及び不動産賃貸業を行っており、その状況は次のとおりである。

(単位 千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
流動資産	8,083	8,158	8,244	7,963	24,665
固定資産	188,987	184,118	179,317	174,574	189,369
資産合計	197,070	192,276	187,561	182,537	214,034
流動負債	8,155	7,119	6,532	6,494	23,368
固定負債	0	0	0	0	0
負債合計	8,155	7,119	6,532	6,494	23,368
純資産合計	188,915	185,157	181,029	176,043	190,666
負債・純資産合計	197,070	192,276	187,561	182,537	214,034
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
売上高	45,790	47,379	51,520	47,879	48,179
販売管理費	50,519	51,737	53,595	50,494	50,428
営業外損益	0	0	0	0	0
当期純損益	△4,729	△4,358	△2,075	△2,615	△2,249

④関連当事者等の取引の状況

ア) 関連当事者 イ参照

イ) 出資会社 (学園が2分の1以上の出資をしている会社)

会社等の名称	事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容	人事上の関係
株式会社ドードス	学習塾	10 百万円	100%	—	役員 1 名 取締役を兼務
株式会社SOBAエデュケーション	情報サービス	60 百万円	50%	支払額 3331 万円	役員 1 名 取締役を兼務
学校運営機構株式会社	経営コンサルティング	31 百万円	96.7%	受入額 302 万円 支払額 2815 万円 貸付金 15700 万円	役員 1 名 取締役を兼務
株式会社イノーヴァインタラクティブ	情報サービス	30 百万円	100%	受入額 120 万円 支払額 2121 万円	役員 1 名 取締役を兼務

以 上